

夢を抱く

2020.11.17

世の中では、夢を抱いて生きることの大切さが、しばしば語られる。だが、抱いた夢が実現するとは限らない。夢を抱いて生きることの意味とは、何だろうか。

1990年にアカデミー賞を受賞した女優のウーピー・ゴールドバーグさんが、ニューヨークのアクターズ・スタジオで俳優修業をする若者から、次のような質問を受けた。

我々は、将来、役者になることを夢見て、毎日、毎日、厳しい修練を積んでいます。こうした我々の努力は、いつか報われるのでしょうか。

この質問に対して、ゴールドバーグさんは、温かいまなざしで答えた。

いま、あなたがたは、いつか役者になりたいとの夢を持ち、素晴らしい仲間とともに、励まし合い、助け合いながら、毎日、その夢を求め、目を輝かせて生きているのでしょうか。

その言葉に対して、若者たちは、うなずく。その若者たちを、優しく見つめながら、ゴールドバーグさんは、静かに語った。

そうであるならば、あなたがたの努力は、すでに報われているではないですか。

この言葉は、我々が夢を求めて生きることの本当の意味を教えてくれる。いま、この一瞬を輝いて生きること、夢を求めて生きることの本当の意味は、このことにあるのではなからうか。

私は、「夢」という文字も意味も好きである。長男の名前にも長女の名前にも「夢」が入っているくらいである。かつて勤務した中学校で進路指導主事を務めた際に出していた「進路通信」のタイトルは『～夢～』だった。

テレビや雑誌などに登場する有名な方のお話を聞いていると、夢は叶うというものが多いように思う。しかし、実際には、夢が叶っていない人のほうが多いことだろう。それでも、夢をもつことが重要なのは、前述のとおりである。

私のささやかな経験から言えることがある。それは、思いが強ければ強いほど、夢が叶う、あるいは夢に近づいていくということである。成功した有名な方たちは、きっと思いの強さが違うのである。思いが強ければ強いほど、あきらめずに続けるはずである。それだけ夢の実現には近づいていく。

夢があるということは、ビジョンがあるということだろう。ビジョンがあれば行動する。強い思いがあれば、なおさらである。夢は、〇〇になりたいでもいいが、どんな生き方をしたいかでもいいと思う。どんな人になりたいかでもかまわない。夢は若者の専売特許ではない。夢に年齢制限はない。いくつになっても、もっていたいもの、抱いていきたいのが夢である。